



お正月がやってきました。やまびこ館のすぐ上手にある、^{おうちだに}標谿神社へ初詣でに出かけられる方々もあるかもしれません。市の天然記念物に指定されている、^{しんかん}森閑とした社叢のすがすがしい空気を吸い込んで、1年の始めを迎えるのもいいですね。現在の鳥居は、やまびこ館よりも少し谷奥にあります。今から130年以上前、江戸時代には鳥居は今の公園入口、電話ボックスのある辺りにたっていました。その頃はやまびこ館の敷地を含め標谿の谷全体が、神聖な土地だったのです。

標谿神社=東照宮？

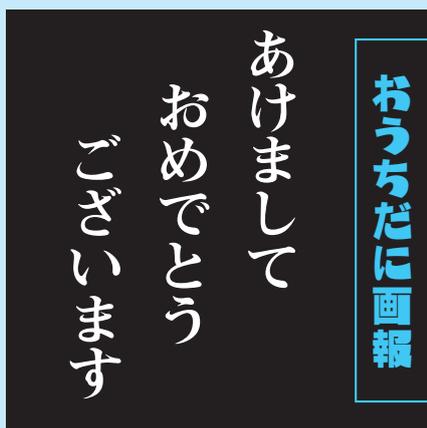
そもそも「標谿神社」というのは、明治時代になってからの名称で、慶安3年（1650）につくられた時は「東照宮」、つまり徳川家康を^{まつ}祀る御宮でした。^{かんじょう}勧請したのは鳥取池田家初代藩主、池田光仲。光仲にとって家康は、曾祖父にあたります。藩内の神社の中でも別格で、藩をあげての東照宮祭礼（例年9月）のにぎやかな様子は、数々の資料からうかがい知ることができます。

江戸時代の標谿

江戸時代後期の鳥取藩士、^{おかじま}岡島正義の著書「鳥府志」は当時の鳥取城下の様子を教えてくださいますが、中に「東照大権現之御宮」の項もあります。鳥居を入れて左側（現在の梅園）に^{べつとうしょ}別当所（東照宮の維持管理、祭礼など行なう寺院。この別当寺は現在は立川町に移転。大雲院）があり、その続きにあった大師堂（別当



所内の堂舎。この時代は、^{きとつ}祈祷・法事などはここで行われていた）に、「毎歳正月三日には御鬮を請る者、暁更よ



り群詣す。年内の吉凶を占ふに、甚驗ありとて、世俗殊に尊信す。（毎年正月三日に、おみくじをを求める人たちが明け方から集まって^{さんけい}参詣する。その年の吉凶を占うのに、^{げん}驗があるということで、民衆は特にうやまい、信じている。）

とあります。おみくじを求める人が行列していたようですね。占いに一喜一憂する姿は、今も昔も変わらないのかもしれませんが。

本年も皆さんにとって素晴らしい1年であることを願っております。

（鳥取市歴史博物館 森田明子）

いっぱい遊んでいっぱい学べる お正月のやまびこ館 無料

1月2日から開館！！

やまびこ館に年賀状を送ろう！

みなさんから送っていただいた年賀状を館内で掲示し、来館者の投票で賞を決定します。受賞者には、やまびこ館からささやかな記念品をさしあげます。

掲示期間 平成17年1月2日（日）～
1月16日（日）

やまびこ館で餅つきをしよう！

ついたお餅はその場で召し上がっていただけますが、数に限りがありますので、お早めにお越しください。

日 時 平成17年1月2日（日）
午前11時～午後1時

やまびこ館で正月遊び！

コマ回しやかるた作りが楽しめます。

日 時 平成17年1月2日（日）～
1月6日（木）

やまびこ館でハッピークイズラリー！

クイズを楽しみながら、やまびこ館をぐるり。全問正解者にはお年玉（賞品）プレゼント！！

日 時 平成17年1月3日（月）・
4日（火）午前9時～午後4時

※ 大人は入館料（500円）が必要です。

■問い合わせ先 やまびこ館 上町88

☎（0857）23-2140